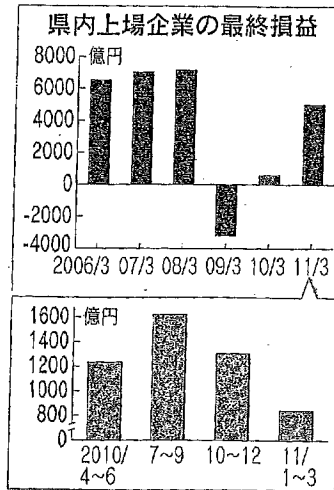


県内上場129社 1～3



11年1～3月期の純利益は11年1～3月期に比べ35%減った。東日本大震災に伴うサプライチェーン(供給網)寸断の影響を受けたほか、被災工場での損害が拡大した。一方、12年3月期の見通しは34%増益。業績予想を開示したのは8割の企業にとどまるが、下期(11年10月～12年3月期)にかけての業績回復を見込んでい

今期は34%増 下期回復見込む

主な業種別の最終損益動向		
業種	2011年3月期	12年3月期見通し
非鉄・電線	▲	▲
機械	▲	▲
電気機器	▲	▲
自動車・部品	▲	▲
建設	▲	▲
商社	▲	▲
小売り	▲	▲
サービス	▲	▲

▲は前の期比増益 ▼は減益

を集計した。県内に本社を置く金融を除く上場企業のうち、06年3月期から連続してデータを取れる企業を対象とした。連結決算を作成していない企業は単独の税引き損益を採用した。

は1万1000台減産し、生産台数は当初予定から半減したほか、湘南工場(平塚市)で設備が破損するなどし特別損失を21億円計上した。当面の工場の稼働率は半分の水準にとどまりそう。

益は助成金や補助金など、自動車関連企業などを中心にして前年同期比11倍。震災後に減速し、11年3月期は前期比8倍にとどまった。

12年3月期は日産自動車など自動車・部品を中心とした23社が業績予想を開示しなかった。部品不足など震災の影響がどこまで続くか見極められないためだ。

ただ、県内企業が総じて今年業績を悲観的にみているわけではない。予想を開示した106社の2011年3月期通期の純利益(写真②)を披露した。母

赤ちゃんイルカ登場 八景島シーパラ、10年ぶり



横浜・八景島シーパラダイス(横浜市)は水族館で16日に生まれたパンドウイルカの赤ちゃん(写真①)を披露した。母

動物愛護センター開設

横浜市、適正飼育など啓発

横浜市は犬と猫を保護する施設「横浜市動物愛護センター」を22日に開設する。神奈川区菅田町に約38億円かけて建設した。研修室などを設け、地域住民や児童が動物について学んだり、ふれあえたりできるようにした。動物愛護や適正な飼育に向けた啓発に力を入れていく。

構成する。交流棟は視聴覚室機能を備えた研修室などを設け、動物愛護の勉強会やペットのしつけ方教室などを開く予定だ。ふれあい棟には犬70匹と猫120匹を収容できる。開館時間は午前8時45分～午後5時15分。市内18区役所や動物関係団体、市民ボランティアなどと連携し、飼育主の都合で飼えなくなった犬や迷い犬、自活できない子猫や病弱やケガをした猫などを預かる。

横浜市は中区に犬を収容する施設を持っていた。猫の適正保護を求める声の高まりを受けて新たな施設を建設した。

介護施設併設した薬局

イムノエイトが拡充

群馬に出店

調剤薬局を経営するイムノエイト(横浜市、谷口郁子社長)は、介護施設を併設した薬局の出店を強化する。群馬県みどり市内に両施設が連携する「ケアミックスファーマシー」を開店する。調剤薬局は2日に先行して取り組みは珍しいという。

スポーツ感覚でごみ拾い



不動産事業を展開するリスト(横浜市、北見尚之社長)は日本スポーツGOMI拾い連盟と組み、拾い集めたごみの量を競い合うイベントを開く。21日にJR横須賀線の東戸塚駅前のモレラパークで開催し、6月には横浜ベイクロタなど横浜市内の5カ所

集めた量競うイベント リストなど、横浜市内で

で行う。スポーツ感覚でごみ拾い意識向上に。3～5人のグループで、約1時間、燃えさで100点吸い殻は同じポイントに換算。参加者が合計額を東戸塚駅に寄付

ている。

コンビナートの災害時応援協定

をめぐり、災害時応援協定を結ぶ。互に援助協定した被災した

る石油基(東京・をめぐり、災害時応援協定を結ぶ。互に援助協定した被災した